

エコライフ・フェア 2017 「湿地の恵み展～ラムサール条約・湿地の観光と物産」 活動報告

2017年6月21日

「湿地の恵み展～ラムサール条約・湿地の観光と物産」実行委員会

【概要】

2017年6月3日～4日に東京・渋谷の代々木公園（ケヤキ並木・イベント広場）で開催された、エコライフ・フェア 2017に「湿地の恵み展～ラムサール条約・湿地の観光と物産」ブースを出展しました。2日間でのべ600名が湿地の恵み展ブースに立ち寄りしました。エコライフ・フェア 2017全体の来場者数は、2日間でのべ40,596名でした。

全国のラムサール条約登録湿地のある自治体、湿地保全に係る団体等の担当者が集まり、各地域の取り組みや湿地の魅力、湿地の価値や保全の重要性などについて来場者に説明を行いました。また、お米などの湿地の恵み、湿地に関係のあるオリジナルグッズなどの販売も行いました。ブース内に設置したワークスペースでは、ミニヨシズづくり（協力：栃木県小山市、栃木市）を行いました。

湿地の恵み展実行委員会企画として、ブース内で湿地クイズラリーを開催し、約500名が参加しました。クイズを通じて、各自治体・団体の担当者と同来場者との対話が生まれ、湿地や湿地の恵みについての普及・啓発が促進されました。

また、イベントの開催期間中は、各湿地の担当者同士が情報交換をする貴重な機会となりました。

※エコライフ・フェアは、環境省が定める環境月間（6月）に各地で開催される行事の一つ。環境省・地方公共団体・企業・NGOなどが連携して開催している。

※湿地の恵み展実行委員会は、ラムサール条約登録湿地関係市町村会議、ラムサールセンター、ユースラムサールジャパンおよびNPO法人日本国際湿地保全連合の4団体で構成されている。

湿地の恵み展 参加自治体・団体

	条約湿地名	参加団体名
当日参加	1 サロベツ原野	NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク
	2 蕪栗沼・周辺水田、化女沼	宮城県大崎市
	3 渡良瀬遊水地	栃木県栃木市
	4 渡良瀬遊水地	栃木県小山市
	5 東海丘陵湧水湿地群	豊田市自然観察の森(日本野鳥の会・豊田市)
	6 円山川下流域・周辺水田	兵庫県豊岡市
	7 —	公益財団法人 日本野鳥の会
資料提供	8 釧路湿原	北海道釧路市・KWC
	9 クツチャロ湖	北海道浜頓別町
	10 大沼	大沼ラムサール協議会
	11 雨竜沼湿原	雨竜沼湿原を愛する会
	12 風連湖・春国岱	春国岱ネイチャーセンター
	13 瀧沸湖	瀧沸湖水鳥・湿地センター
	14 仏沼	青森県三沢市
	15 谷津干潟	谷津干潟自然観察センター
	16 佐潟	新潟県新潟市(佐潟水鳥・湿地センター)
	17 片野鴨池	石川県加賀市
	18 東よか干潟	佐賀県佐賀市
	19 —	メープル・ツアーズ
実行委員会	ラムサール条約登録湿地関係市町村会議、ラムサールセンター、ユースラムサールジャパン、NPO法人 日本国際湿地保全連合	
協力	環境省自然環境局野生生物課	

【湿地の紹介、恵みの展示・販売】

今年、50箇所の登録湿地のうち、16湿地・19団体が参加しました。当日は、サロベツ原野、蕪栗沼・周辺水田、渡良瀬遊水地、東海丘陵湧水湿地群、円山川下流域・周辺水田の自治体担当者やNGOメンバーが上京し、来場者に対して各湿地の取り組みや観光案内などを行いました。また、お米などの湿地の恵み（物産）や湿地で活用できる軍手、図鑑などのオリジナルグッズの販売をしました。各湿地の担当者による詳しい説明により、来場者の湿地に対する興味・関心を高め、湿地の保全に向けた普及啓発ができました。

また、イベントを通じて、全国各地の湿地関係者が集まり、地域での取り組みや課題などの情報を交換することができ、今後、湿地間で連携して、湿地の保全、賢明な利用を促進していくためのきっかけづくりの場となりました。



ブースの外観



物産販売の様子



ブース内の様子



ゆるキャラ（渡良瀬遊水地「ハーツ姫」）

【ポスター・パンフレット展示】

ラムサール条約登録湿地を紹介するパンフレット、地域の観光案内などが掲載されたパンフレットを展示・配布しました。過去に提供いただいた資料も含め、約50種類のパンフレット・チラシを展示し来場者が自由に持ち帰りできるようにしました。また、担当者派遣のあった自治体を中心にポスター・パネルの展示を行いました。

（写真） 各湿地のパンフレット



【体験プログラム】



ワークスペースにて、渡良瀬遊水地のある栃木県小山市、栃木市による、ミニヨシズづくり体験を行いました。子どもから大人まで、2日間で約50組の方が参加し、体験を通して湿地の植物や伝統文化について知ってもらうことができました。

(写真) ミニヨシズ作り体験の様子

【湿地クイズラリー】

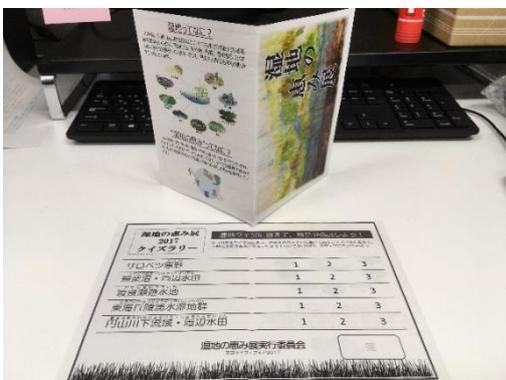
来場者に湿地の恵みや各湿地のことを知ってもらうために、「湿地の恵み展 2017 クイズラリー」を開催しました。ブース内にラムサール条約登録湿地の3択クイズを5問設置し、来場者は、各湿地の担当者にヒントを教してもらいながらクイズの答えを解答用紙に記入しました。クイズラリーの最後には、各湿地から提供されたおりがみやクリアファイル、缶バッジ、ポストカードなどを景品として配布しました。クイズラリーを通じて、来場者と自治体の担当者との交流が生まれ、2日間で約500名の参加者に、「湿地」や「湿地の恵み」について普及啓発をすることができました。



クイズラリーパネル



参加者の様子



クイズラリー解答用紙 (表裏)



クイズラリーの景品 (一部)

【交流会】

1 日目（6 月 3 日）の夜に参加者交流会を渋谷区勤労福祉会館にて開催しました。自治体、団体、実行委員会、ボランティアスタッフなど 29 名が参加し、全国各地の湿地関係者が交流するよい機会となりました。交流会では、参加団体から提供いただいた湿地の恵みであるお酒や食品の試飲・試食も行い、持参した湿地の恵みの魅力などを各自に語っていただきました。



湿地の恵みを持って集合写真



湿地の恵みを紹介



湿地の恵み（日本酒・焼酎）



湿地の恵み（ゲンゴロウブナ）